

年末年始の収集日程

	年 末	年 始	申 込 み
戸別収集	12月30日(金)まで		
粗大ごみ	【回収】12月28日(水)まで ※年内回収の申込みは21日(水)まで	1月4日(水)から	リサイクルセンター ☎552-1621 または ☎551-9150
	【持込】12月27日(火)まで ※年内持込の申込みは27日(火)まで	1月5日(木)から	
し尿 くみ取り	12月27日(火)まで ※年内くみ取りの申込みは21日(水)まで	1月6日(金)から	ごみ減量対策課 ごみ減量対策係 ☎551-1731
リサイクル プラザ (リサイクル品販売)	12月28日(水)まで (午前9時～午後4時)	1月4日(水)から (午前9時～午後4時)	

※年始の収集初日はごみの量が大変多く、一日では収集できない場合があります。何日かに分けて出していただくようご協力をお願いします。



清掃だより
138

令和4年12月15日
福生市
生活環境部
ごみ減量対策課
ごみ減量対策係
ご意見・問合せ
☎042-551-1731



12月29日(木)、12月30日(金)は特別収集日です

年末最後の2日間(12月29日(木)、30日(金))は**特別収集日**です。東地区、南地区は収集品目が通常と異なりますので、ごみ・リサイクルカレンダー(11ページ)をご確認の上、適切な排出をお願いします。
※地区はカレンダー表紙の左上に記載しています。

【特別収集日の品目】

地 区	12月29日(木)	12月30日(金)
★ 東 地 区	容器包装プラスチック、ビン	全地区 燃やせるごみ
西 地 区	プラスチックボトル、ペットボトル、硬質プラスチック	
中央地区	容器包装プラスチック、ダンボール	
★ 南 地 区	新聞、雑誌・雑紙	

★通常の収集品目と異なる地区です。

年内の粗大ごみの回収のお申込みはお早めに!

年末は、大掃除などで出た粗大ごみの申込みが集中します。ご希望の日に収集できない場合がありますので、お申込みはお早めをお願いします。

お申込み後の品目の追加により、電話がかかりにくくなりますので、捨てるものは取りまとめてお申込みください。なお、電話番号はお間違えのないようにお願いします。

※石油ストーブ、石油ファンヒーター、ガスストーブ、ガスファンヒーターは、大きさに関わらず粗大ごみとして収集します。小型家電では収集できません。



申込み受付：12月21日(水)まで
年内回収：12月28日(水)まで

粗大ごみはリサイクルセンターへ電話してください

☎ **552-1621** または **551-9150**

※電話番号は、お掛け間違いのないようにお願いします。

「声のごみ・リサイクルカレンダー」等をお届けします

市では、DAISY方式のCD版「声のごみ・リサイクルカレンダー」および「声のごみ・資源分別一覧」をお届けしています。

ご希望の方は、直接市役所第二棟2階ごみ減量対策課ごみ減量対策係窓口へお越しいただくか、電話(☎551-1731)でお申し込みください。後日、ご自宅へ無料で郵送します。

※専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます(利用者1割負担)。

【対象】原則、視覚障害1級・2級の方

年末の大掃除にも

ごみカレンダーがいつもポケットに!

「ふくナビ」



▲Android用



▲iPhone用



【分別方法も簡単検索!!】

ごみの散乱防止と3R（リデュース=発生抑制 リユース=再使用 リサイクル=再生利用）を進めるための ポスター・標語コンテストの入選作品が決まりました

市内の小学生を対象にポスターと標語を募集し、市の廃棄物減量等推進員の選考の結果、次の作品が入選しました。（敬称略）
入選作品は、ごみ・リサイクルカレンダーへの掲載など、ごみ減量のPRに使用します。

〈ポスター部門〉

小学1年生から3年生の部



一席
まつばら かほ
松原 佳歩（二小1年）

小学4年生から6年生の部



一席
いとう ひめか
伊藤 妃夏（一小4年）



二席
あまの せり
天野 芹里（一小4年）



三席
いのまた しおり
猪股 志桜里（一小4年）

〈標語部門〉

小学4年生から6年生の部

- 一席 いしかわ あたる
石川 歩亘（六小4年）「意識する ゴミを減らした 暮らし方」
- 二席 なかざわ ひろき
中沢 拓暉（三小4年）「プラゴミで 海の生物 泣いている」
- 三席 こいずみ はるた
小泉 晴大（三小4年）「混ぜればゴミ 分ければ資源」



令和3年度 福生市のごみ処理実績と資源状況についてお知らせします

・総ごみ量が減少

令和2年度と比較すると569トンの減少となりました。

・総資源化率は増加

総資源化率とは、集めたごみ等の中から資源（集団資源回収や収集後資源化を含む）としてリサイクルされた割合です。令和2年度との比較では、増加しました。

総ごみ量は、新型コロナウイルス感染症の影響がある程度落ち着いてきたことで、元の減少傾向に戻ったと考えられます。

また、総資源化率は減少傾向で推移していましたが、令和3年度は令和2年度より0.2%増加しました。ごみ減量のためには、ごみになるものを買わない、受け取らないなどにより、ごみの発生そのものを減らすことが大切です。

ごみを出さない身近な工夫

- ◇ 過剰包装のものを買わない、断る
- ◇ マイバッグやマイボトル・マイカップを利用する
- ◇ 料理を残さず食べる、食材を買いすぎない

総ごみ量と総資源化率の推移

